



Douglas
Monthly Update

ダグラスニュースレター

Vol.12
2012年4月1日号

糖尿病によるレビュー(3/11)



Vern S. Cherewatenko - 医学博士 パーン チェレワテンコ
糖尿病治療を専門とする開業医、米国家庭医学専門医、米国肥満学会認定医
著書に「糖尿病治療法(The Diabetes Cure)」がある。
現在「女性のストレス治療法(The Female Stress Cure)」を執筆中。

現代西洋医学がますます先鋭化し、攻撃的な治療に傾いてゆく中で、私たち医師は患者の自らが治療する力を引き出す医療をもっと大切にすべきではないでしょうか。そして、もう一步踏み込めば、病気になる前にそれを予防する医学的助言をすることが、今、求められているような気がします。私は、長年にわたってダグラスラボラトリーズのダイエタリーサプリメントを患者に処方してきました。それは極めて良質なビタミンであり、含有量が際立ったミネラルであり、また、非常に切れ味のいいハーブであったりします。そして、患者さんは安心してそれを飲み、マイルドなペースで、時には劇的に状態の改善を見せるのです。私にとってダグラスラボラトリーズの健康補助食品は、予防医療を続けてゆく上で欠かすことができません。

全国的な蔓延

2型糖尿病

糖尿病の最も一般的な型は2型糖尿病である。2型糖尿病は以前はインスリン非依存性糖尿病(NIDDM)や、成人発症型糖尿病といわれていた。糖尿病患者の約90~95%が2型である。この型の糖尿病は通常40歳以上の成人に発症し、55歳以上に最も多い。若年集団における急速な増加が現在認められている。かつて従来の「中年期」発症の疾患であったものが今や、若年成人、青少年にさへ広がっている。若年患者におけるこの驚くべき増加率は医療産業の注意をひくこととなり、患者や医療従事者両方の認識を高めるため、教育的な啓蒙プログラムが積極的に開始されることとなった。

2型糖尿病患者の約80%が太りすぎである。2型糖尿病はしばしば、肥満、血圧上昇、血中脂質高値を含むメタボリックシンドロームの要素となる。残念なことに、上記のとおり、小児・青少年の25%が現在太りすぎであり、2型糖尿病は若年者において以前より多くなってきている。

2型糖尿病と診断された場合、膵臓は通常十分にインスリンを産生しているが、身体がインスリンを有効に利用できない、いわゆるインスリン抵抗性の状態にある。身体はこの効果の不足を感知し、血糖値の上昇を制御するために、誤ってインスリンの産生をしばしば増大させる。過剰産生が数年続いた後、インスリンの産生が低下する。その結果は1型糖尿病と同様で、ブドウ糖が身体に蓄積し、身体が燃料の主原料としてブドウ糖を有効に利用できなくなる。血流中の過剰なブドウ糖はその後、貯蔵エネルギー、すなわち脂肪に変換される。グリセリド、その後のトリグリセリド産生を介し、過剰なブドウ糖の代謝産物は脂肪細胞に運ばれ、万一の時(多くの患者にとって、決してめったには生じない)に備え貯蔵される。

2型糖尿病の症状は徐々に発現する。1型糖尿病のように発症が急激ではない。症状が出ない患者もいる。症状として、倦怠感や吐き気、頻尿、異常な口渴、体重減少、かすみ目、頻繁の感染症、創傷や痛みなどの治癒遅延等が生じうる。地球上において、優に3分の1の糖尿病患者が、優れた医療業界により診断を受けることなく歩き回っている。私見では、全米糖尿病協会が掲げるスクリーニングパラメータは、この早期での糖尿病発見の機会逸失をとおっているにすぎない。このニュースレターでは、スクリーニング改善に向け、私的な勧告について後で論じるつもりである。

2型糖尿病は、高齢者(最近までは)、肥満、糖尿病の家族歴、妊娠糖尿病の既往歴、耐糖能障害、運動不足、人種/民族性と関連している。アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック/ラテン系アメリカ人、アメリカインディアン、一部のアジア系アメリカ人・太平洋諸島在住者は特に、2型糖尿病のリスクが高い。小児や青少年において、2型糖尿病との診断がますます増加している。

妊娠糖尿病

妊娠糖尿病は、一部の妊婦において診断される耐糖能障害の1病型である。妊娠糖尿病は、アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック/ラテン系アメリカ人、アメリカインディアンにおいてより多く生じる。さらに肥満女性、糖尿病家族歴のある女性においても多くみられる。妊娠中、妊娠糖尿病には、母体血糖値を正常化し、児の合併症を回避するために治療が必要である。出産後に通常は消失するが、母体はその後の生涯において2型糖尿病となるリスクが高まる。妊娠後、妊娠糖尿病女性5~10%が2型糖尿病であることが示されている。妊娠糖尿病に罹患した女性は、以降5~10年間に糖尿病を発症する見込みが20~50%である。他の特殊なタイプの糖尿病は、特異的な遺伝状況(若年者の成人発症型糖尿病)、手術、薬物、栄養失調、感染症、他の疾患から生じる。こうしたタイプが診断された糖尿病症例の1~5%を占めていると思われる。

インスリン抵抗性症候群と高インスリン血症

“インスリン抵抗性”という用語は、細胞のインスリン作用に対する感受性低下の状態を表す。インスリンは、適切な糖代謝における最初の過程の1つとして、細胞の受容体へ“効果的に”結合しなければならない。もしインスリンが受容体部位において効果的ではない場合、血糖値は上昇しがちとなり、より多くのインスリンが“必要”との情報伝達が生じる。身体は、推定される生理学的レベルの4~5倍に時に達するほどの、過度のインスリン分泌により応答する。この2次的高インスリン血症は、膵臓がこの過度の需要に無駄に応えようとするため、膵臓に有害な作用を及ぼしうる。膵臓は弱り始め、2型糖尿病のステージが調う。熱心な医師は第1もしくは第2世代の糖尿病薬を速やかに処方し、いっそう多くのインスリンを膵臓に産生させ、膵臓β細胞の死をさらに早める。このインスリン抵抗性や感受性低下は、耐糖能障害や血糖代謝異常をもたらす。インスリン抵抗性症候群(IRS)はまたシンドロームXやメタボリックシンドロームともいわれ、1式の代謝異常を示す。IRSは、耐糖能異常、異常なHDL(高比重リポ蛋白)コレステロール低値やトリグリセリド高値、高血圧、上半身の肥満と関連している。これら因子すべてが冠動脈疾患(CHD)に対する独立リスク因子である。CHDは、動脈組織における脂質生成を刺激し、動脈平滑筋の成長を促進して、動脈硬化症を助長するインスリンの直接作用から発症する。インスリンレベルの上昇により線維素溶解が低下し、冠動脈血栓に対するリスクが上昇する。インスリンはまた、肝におけるトリグリセリドの産生を増大させ、HDL(善玉コレステロール)の産生を低下させる。さらに高血圧も、インスリンの腎ナトリウム再吸収に対する作用亢進により生じうる。体重減少は、インスリン抵抗性症候群患者にとっては重要なメリットである。高用量ビタミンEは、2型糖尿病患者のインスリン抵抗性を改善させると報告されている。糖尿病患者において、亜鉛、セレン、ビタミンCは酸化ストレスの低下と関連づけられている。

Product on the Paper

このコーナーでは、掲載論文に関連したダグラス製品を紹介しています。

Chromium Picolinate クロミウムピコリネート

品 番：7417-100
価 格：1,995円(税込み)
内 容 量：100粒入り/1日1粒/100日分



含有成分(1粒あたり)	含有量
クロム	250 µg

糖質や脂質の代謝に不可欠なミネラル

クロミウムは体内でブドウ糖バランスを維持するために重要な働きをしています。血液から細胞へのグルコースの搬入、インスリンの働きを支援するなど、代謝面で重要な役割を担っています。欧米型の食習慣、すなわち、高脂肪、高糖分の食事ではクロミウムが体から大量に奪われてゆきます。日本においても食習慣の欧米化によってクロミウムはサプリメントで補充しなければならない成分になってきています。クロミウムはダイエットのための成分として知られるようになりましたが、実は、インスリン作用補助による血糖値の安定がもっとも注目される働きです。クロミウムピコリネート(ピコリン酸クロム)は吸収力が高く、GTFとともに理想的なクロミウムの形とされています。

Product Review

L-Arginine 500mg L-アルギニン 500mg

品 番：7932-60
価 格：1,995円(税込み)
内 容 量：60粒入り/1日1粒/60日分



成長ホルモンの分泌促進

アルギニンは体内でグルタミン酸から生成されますが、生成量は十分ではなく、しばしば不足気味になります。その不足分を外から摂取する必要があり『準必須アミノ酸』と呼ばれています。また、幼児期では生成が十分ではなく、必須アミノ酸にカウントする場合があります。成長ホルモン(GH)、インスリン、ヘモグロビン、コラーゲンなど、様々な蛋白質を構成するたいへん重要なアミノ酸で、不足するとアンモニアの解毒が不十分になったり、脂肪肝になることがよく知られています。また、成長ホルモン分泌促進効果から筋量の増加をはかる働きもあり、抗加齢作用に注目する医療関係者も増えています。

含有成分(1粒あたり)	含有量
L-アルギニン	500 mg

G.F.S.-2000®

品 番：7704-90
価 格：4,410円(税込み)
内 容 量：90粒入り/1日9粒/10日分

野菜不足が気になる方のためのサプリメント

体の酸化は老化を進める大きな要因となります。この酸化を抑制するためには、幅広いソースから様々な抗酸化成分を摂取することが重要で、その中でも、多くの野菜を日ごろから摂って、野菜に含まれるフラボノイド類や植物酵素、ファイトケミカルを十分に摂取する必要があります。G.F.S.-2000には19種類の野菜・果物抽出物が配合されており、日ごろ、野菜不足を心配されている方に最適なサプリメントです。また、50億個の乳酸菌群とその栄養となるフラクトオリゴ糖を合わせて配合することにより、腸内フローラを改善し、免疫強化にも寄与します。



含有成分(9粒あたり)	含有量	含有成分	含有量
小麦若葉抽出物	200 mg	マリアアザミ抽出物	25 mg
大麦若葉抽出物	200 mg	イチヨウ葉抽出物	20 mg
アルファルファ抽出物	200 mg	ビルベリー抽出物	20 mg
グリーンババイヤ抽出物	200 mg	プロアントシアニジン	20 mg
スピルリナ抽出物	400 mg	乳酸菌群	50億 CFU
クロレラ	400 mg	(以下の成分む)	
ブロッコリー抽出物	400 mg	L.アシドフィルス菌(DDS-1)	
カリフラワー抽出物	400 mg	L.ラムノス菌	
レシチン	1,000 mg	ビフィズス菌(フリーズドライ)	
小麦新芽パウダー	200 mg	S.ラクトイス菌	
アセロラ抽出物	150 mg	ビフィズス菌ロンガム	
砂糖大根抽出物	100 mg	B.ビフィダム菌	
ホウレンソウ抽出物/オクタコサノール	250 mg	S.サーモフィルス菌	
デュナリエラ・サリナ	25 mg	フラクトオリゴ糖	500 mg
緑茶抽出物	25 mg		

Order Made Supplement Service

分包による
オーダーメイド
サプリメント
サービス!



- 患者様に合わせた指示箋ができる、オーダーメイド分包サービスです。患者様の満足度がより高くなります。
- 在庫負担がありません。
- 商品のお届けは、クリニック様お届けと患者様直送からお選び頂けます。
- ラベルデザインや容器も色々お選び頂けます。



編集後記

ダグラスニュースレターをお読みいただき誠にありがとうございました。これからも最新の臨床データ、商品情報などを正確に、また、迅速にご提供してまいります。どちら様もご意見・ご希望がございましたら編集者までお寄せください。

無断転載・転用は固くお断りいたします。

発行者：
〒135-0091 東京都港区台場2-3-2
日本ダグラスラボラトリーズ株式会社
TEL: 03-5530-2212